



## 【保護者の皆様へ】

### 学習参観・懇談会へのご参加、ありがとうございました！

2月19日(木)から25日(水)までの4日間にわたり、今年度最後となる学習参観および懇談会を実施いたしました。お忙しい中、多くの皆様に足をお運びいただき、心より感謝申し上げます。

#### ■子供たちの「確かな成長」を感じた一日

今回の参観は、特に6年生にとっては小学校生活最後となる節目の一日でした。この一年間で、子供たちは驚くほどの変化を遂げました。身体の成長はもちろん、ものの見方や考え方が大人に近づき、自分たちで考え、判断して行動する場面が増えています。

授業での頑張りを通して、ご家庭でもお子様の「確かな歩み」を感じ取っていただけたのではないのでしょうか。私たち教職員も、一人一人の成長を願い、全力で日々の指導にあたってきました。

#### ■「足りない部分」よりも「できるようになったこと」を

子供の成長には個人差があります。私自身、二人の親として実感することですが、同じように育てても、性格や得意・不得意は十人十色です。親になると、つい欠点に目が向き「もっとこうしてほしい」と言いたくなるものですが、少し視点を変えてみてください。一年前と比べれば、確実に進歩していることがたくさんあるはずですよ。

「できなかったこと」を指摘するのではなく

「できるようになったこと」を共に喜び、認めること

この姿勢こそが、子供たちの自己肯定感を育む大切な鍵となります。ぜひ、参観での様子をお子様と話し合い、成長を褒めてあげてください。それが次年度への大きな意欲へとつながります。

#### ■「小さな一歩」の積み重ねを大切に

学校では、誰かと比較するのではなく、その子自身が「昨日より今日」と一歩ずつ進歩できるよう、引き続き一人ひとりに寄り添った支援を行っていきます。

「たとえ小さな一歩でも、それを積み重ねることが、大きな事を成し遂げるたった一つの方法である」この言葉を胸に、残り少ない今年度も、ご家庭と連携しながら子供たちの学校生活を全力で支えていきます。今後ともご理解とご協力をお願いします。

## 『落とし物』ゼロを目指して

### ～ 一つ一つの持ち物に「名前」という愛情を ～

学習参観期間中、南校舎一階多目的室前に展示した「落とし物」をご覧いただけただけでしょうか。残念ながら、持ち主が見つかったのはごく一部で、今もなお多くの品々が寂しそうに持ち主を待っています。

学校では「物を大切にしよう」と指導していますが、落とし物の中には記名がないために、本人が自分のものだと思えないケースが多く見受けられます。持ち物に名前を書くことは、単なる紛失防止ではありません。

「これは自分のものだ」という自覚をもたせること

最後まで責任をもって使い切る心を育てること

そんな「物を大切にできる心」の第一歩です。ご多忙の折とは存じますが、今一度、お子様と一緒に持ち物の記名チェックをお願いします。一つひとつの持ち物に名前という「居場所」を作ってあげてください。

